

**令和3年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業報告書**
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

第1 財団運営の総括

1 会議の開催状況

年月日	名称	提出議案等
03.04.01	第1回理事会（書面決議）	・評議員会の招集について
03.04.01	第1回評議員会（書面決議）	・理事、監事の選任について
03.06.02	第2回理事会	・令和2年度事業報告及び決算報告について ・評議員の選任について ・評議員会の招集について
03.06.29	第2回評議員会	・令和2年度事業報告及び決算報告について ・評議員の選任について
03.06.29	第3回理事会（書面決議）	・役員を選任について
03.09.07	第4回理事会（書面決議）	・評議員の選任について ・令和3年度収支補正予算（第1号）について ・評議員会の招集について
03.10.26	第3回評議員会	・評議員の選任について ・令和3年度収支補正予算（第1号）について
03.10.26	第1回評議員・理事・監事合同会議	・本年度事業の実施状況について ・任期満了に向けての事業計画及びこれからの思い（串田総監督）
03.12.23	第2回評議員・理事・監事合同会議	・令和4年度事業概要について
04.02.22	第5回理事会（書面決議）	・令和3年度収支補正予算（第2号）について ・令和4年度事業計画及び収支予算書について ・評議員会の招集について
04.03.11	第4回評議員会	・令和3年度収支補正予算（第2号）について ・令和4年度事業計画及び収支予算について

2 所管業務

令和3年度は、松本市から指定管理者の指定を受けた、美術館施設2館、文化芸術施設3館において、施設ごとの運営方針を掲げ、「多彩で独自性ある自主事業」と「市民から親しまれる館運営」の両立を目指した管理運営に努めてまいりました。また、国が令和2年5月に文化観光推進法を作成したことから、文化や芸術を地域の活性化や観光振興につなげていくという視点を持ちながら、市民の皆様には文化芸術に触れる機会の提供に注力してまいりました。

特に自主事業では、各施設の強みを活かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演、芸術性の高い作品から話題性のある作品の公演等、幅広い事業を行うことで、コロナ禍においても芸術文化を身近に感じていただけるよう活動を行ってまいりました。

3 厳しい財政状況への対応

依然として厳しい財政状況のなかで、国をはじめとする助成制度の積極的な活用により、自主事業の財源確保を図るとともに、コスト意識を持ち効率的な事業運営による経費の縮減に努め、市民への芸術文化に触れる機会の提供とのバランスを図りながらの運営を行いました。

4 環境問題への対応

利用状況に応じた開館時間の短縮、冷暖房の適切な温度設定、不用な照明の消灯に心がけるなど積極的に省エネルギー対策へ取り組みました。

現在、音楽文化ホール、波田文化センター、まつもと市民芸術館においては太陽光や風力など自然エネルギー由来の電力を使用しています。

また、全国に先駆けて2030年までに『脱炭素』を目指す『脱炭素先行地域』に県内で唯一松本市が選ばれました。今後も自然エネルギー由来の電力の使用等を中心とした環境に配慮した活動を行ってまいります。

5 財団機能強化

(1) 経営の健全化

会計・税務業務を税理士に委託し、引き続き事務の適正化を図りました。

職員のコンプライアンスに対する意識高揚・コスト意識向上や事務スキルの平準化を図るため、職員研修を実施しました。

(2) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成18年3月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図りました。

令和2年12月から社会保険労務士と契約締結をし、職員の働き方改革に着手しており、引き続き、職員のモチベーションの向上と質の高い財団運営を目指します。

6 新型コロナウイルス感染症への対応

国や県のガイドライン等を遵守徹底し、次の対策を推奨かつ講じ、でき得る限り事業を行うことで、文化芸術振興を図るとともに市民の生活に潤いと豊かさをもたらすよう努めました。残念ながら中止となった事業やワークショップもありましたが、感染状況を注視しつつ、可能な限り市民の皆様には芸術文化に触れる機会の場を提供しました。

(1) 感染防止の基本的対応

- ①人と人との距離の確保
- ②マスクの着用・咳エチケットの呼びかけ
- ③こまめな手洗い・手指消毒
- ④入場時の検温の実施、入場者の連絡先の取得、入場前の座席の消毒

(2) 三密の回避

- ①会議室・練習室の定期的な換気の呼びかけ
- ②入場時等の間隔の確保
- ③会話を控えることの呼びかけ

7 職員体制

令和4年3月31日現在

単位：人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1	一般事務	1	4
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	2			3
	財団							一般事務 売店事務	1 1	2
	計				1		2		2	5
梓川アカデミア館	市職			館長 (美術館副館長兼務)	(1)	館長補佐 (美術館課長補佐)	(2)			
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
音楽文化ホール	財団	館長	1			館長補佐 プロデューサー	1 1	一般事務 企画制作 オルガニスト	4 2 1	10
	計		1				2		7	10
市民芸術館	市職			支配人 (事務長兼務)	1	係長	1			2
	財団	総監督	1			プロデューサー 舞台技術部長	1 1	一般事務 企画制作 舞台技術	5 6 7	21
	計		1		1		3		18	23
波田文化センター	市職			館長 (芸術館支配人兼務)	(1)					
	財団					係長 (企画制作事務)	1	一般事務 舞台技術	1 1	3
	計						1		2	3
合計	市職		1		3		4		1	9
	財団		2		0		5		32	39
	計		3		3		9		33	48

第2 各施設の事業報告

1 松本市美術館

活 動 の 概 要

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識して、法令を遵守するとともに、利用者サービス向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。

《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくります。

《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

2 令和3年度の重点的な取組みの成果

(1) 大規模改修事業への協力

令和3年度は大規模改修事業で1年間休館だったため、企画展示等事業への協力はありませんでした。

一方で、これまで指定管理者として施設管理等を行ってきた立場から、受付やミュージアムショップのレイアウト変更等、大規模改修事業における個別内容について提案を行い、より来館者に対しスムーズなサービス提供ができるよう、協力しました。

(2) 施設管理の継続

大規模改修事業中においても、外構や植栽等の管理は引き続き行う必要があり、周辺にお住いの方や通行される方に対し不快感を与えないよう注意し、施設管理を重点的に実施しました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 美術館ホームページについて、運営を担う指定管理者の立場から、利用者に対し誤った情報を発信しないよう、大規模改修事業中である旨を全面に打ち出すなどの工夫を行いました。

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数0日(大規模改修のため。2年度開館日数267日)

施設		3年度	2年度	前年度対比	
				増減	増減率
有料	個人(人)	0	70,935	△ 70,935	-100.0%
	団体(人)	0	194	△ 194	-100.0%
	計(人)	0	71,129	△ 71,129	-100.0%
無料(人)		0	32,998	△ 32,998	-100.0%
合計		0	104,127	△ 104,127	-100.0%

2 施設別利用状況

施設		3年度	2年度	前年度対比	
				増減	増減率
市民ギャラリー	利用日数(日)	0	104	△ 104	-100.0%
	利用可能日数(日)	0	267	△ 267	-100.0%
	利用率(%)	0.0%	39.0%	△ 39.0%	ポイント
講座・演習室	利用日数(日)	0	55	△ 55	-100.0%
	利用可能日数(日)	0	267	△ 267	-100.0%
	利用率(%)	0.0%	20.6%	△ 20.6%	ポイント
多目的ホール	利用日数(日)	0	24	△ 24	-100.0%
	利用可能日数(日)	0	267	△ 267	-100.0%
	利用率(%)	0.0%	9.0%	△ 9.0%	ポイント

3 施設利用者数

	3年度		2年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
市民ギャラリー等(人)	0	0	30	21,522	-30	△ 21,522	-100.0%
講座・講演会・コンサート等(人)	0	0	104	1,785	-104	△ 1,785	-100.0%
合計	0	0	134	23,307	-134	△ 23,307	-100.0%

4 利用料金収入【参考】

	3年度	2年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	0	1,490,880	△ 1,490,880	-100.0%
合計	0	1,490,880	△ 1,490,880	-100.0%

2 松本市梓川アカデミア館

活 動 の 概 要

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和3年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、利用者アンケートの結果や実際のご意見を参考に相手の立場に立った親切な対応を心がけました。
- (3) 3年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった企画もありましたが、新たに4つのワークショップを企画するなど、年間6つのワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図りました。新型コロナウイルスの感染症対策を徹底したうえで、刺繍絵画講座や消しゴムはんこ講座を開催することで、生きがいづくりに繋げました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は美術愛好家の皆さんの発表の場として定着し3年度は12件の利用がありました。
- (2) 地域の解説ボランティア6名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで交流促進、高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (3) 広報誌「アカデミア館便り」を2月1回発行し主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信等、より効果的な周知に努めました。

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数299日（2年度260日）

施設		3年度	2年度	前年度対比	
				増減	増減率
常設展	有料（人）	661	638	23	3.6%
	無料（人）	2,552	722	1,830	253.5%
	計（人）	3,213	1,360	1,853	136.3%
企画展（人）		1,796	1,413	383	27.1%
合計		5,009	2,773	2,236	80.6%

2 施設別利用状況

施設		3年度	2年度	前年度対比	
				増減	増減率
ギャラリー	利用日数（日）	153	130	23	17.7%
	利用可能日数（日）	299	260	39	15.0%
	利用率（%）	51.2%	50.0%	1.2ポイント	
第2ギャラリー	利用日数（日）	162	208	△46	-22.1%
	利用可能日数（日）	299	260	39	15.0%
	利用率（%）	54.2%	80.0%	△25.8ポイント	
アクセスギャラリー	利用日数（日）	163	138	25	18.1%
	利用可能日数（日）	299	260	39	15.0%
	利用率（%）	54.5%	53.1%	1.4ポイント	
屋外施設	利用日数（日）	0	1	△1	-100.0%
	利用可能日数（日）	299	260	39	15.0%
	利用率（%）	0.0%	0.4%	△0.4ポイント	

3 施設利用者数

	3年度		2年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
ギャラリー・第2ギャラリー	38	9,523	30	5,874	8	3,649	62.1%
アクセスギャラリー	12	8,802	7	3,497	5	5,305	151.7%
屋外施設	0	0	1	2	△1	△2	-100.0%
合計	50	18,325	38	9,373	12	8,952	95.5%

4 利用料金収入【参考】

	3年度	2年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	728,016	643,680	84,336	13.1%
合計	728,016	643,680	84,336	13.1%

3 松本市音楽文化ホール

活動の概要

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で、活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や、積極的な育成援助を行います。

2 令和3年度の重点的な取り組みの成果

- (1) 優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、国内外の最高のクォリティの演奏家を招き、市民の音楽経験を豊かなものとするべく事業を企画しましたが、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴って海外の演奏家の来日が叶わず、招聘事業を中止せざるを得なくなりましたが、国内の演奏家による代替事業を企画し、好評を博しました。
- (2) サイトウ・キネン・オーケストラ、新人演奏会等、松本市および音楽文化ホールが培ってきた音楽的財産を生かし、さらなる発展を図る企画に力を入れました。
- (3) オルガン・チェンバロなどホール所蔵の楽器に市民に広く親しんでいただくための演奏会・講習会を行いました。また、ポジティブオルガンを活用したアウトリーチを実施しました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、国・県及び市から提示されたガイドラインや各音楽団体より出されたガイドラインを基に、当館に則したチェックリストと利用案内を作成し、安心して利用してもらえる施設を心掛けました。
また、各利用者にあった感染予防対策の案内ができるよう、打ち合わせも継続しました。
- (2) 自主事業と貸館利用との相乗的な促進効果を得るために、多くが利用登録団体である市内の合唱団を取り込んだ事業、市民音楽団体との共催事業を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となりました。また、U-25や託児サービスなど、より幅広い客層を取り込むサービスの周知・継続に努めました。
- (3) 令和3年からfacebook、TwitterにInstagramも加え、更に多様な広報チャネルを活用して、より幅広い層に向けた広報の充実を図りました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

施設		3年度	2年度	前年度対比	
				増減	増減率
メインホール	利用日数（日）	243	197	46	23.4%
	利用可能日数（日）	286	271	15	5.5%
	利用率（%）	85.0%	72.7%	12.3ポイント	
小ホール	利用日数（日）	246	205	41	20.0%
	利用可能日数（日）	294	269	25	9.3%
	利用率（%）	83.7%	76.2%	7.5ポイント	
練習室	利用日数（日）	234	170	64	37.6%
	利用可能日数（日）	294	267	27	10.1%
	利用率（%）	79.6%	63.7%	15.9ポイント	

2 来館者数

	3年度		2年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
メインホール	339	15,933	236	8,732	103	7,201	82.5%
小ホール	359	7,910	296	5,337	63	2,573	48.2%
練習室	666	4,287	459	2,742	207	1,545	56.3%
合計	1,364	28,130	991	16,811	373	11,319	67.3%

3 利用料金収入

目標	利用料金収入	10,780 千円
----	--------	-----------

	3年度	2年度	前年度対比	
			増減	増減率
ホール利用料	4,376,445	1,401,220	2,975,225	212.3%
練習室利用料	1,453,140	563,910	889,230	157.7%
設備利用料	6,452,050	4,093,580	2,358,470	57.6%
合計	12,281,635	6,058,710	6,222,925	102.7%

4 まつもと市民芸術館

活 動 の 概 要

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 令和3年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本からの文化の発信力を高め、また県を超えた移動等が制限される場合に備え、『西の人気者』『ラ・チラカッチャッチャ』『リア王』等、少ない稽古で再演可能なレパートリー作品を制作しました。
- (2) 伊東豊雄展の開催、シアターパーク絵本箱の設置、『森を歩いて』『あなたがわたしを忘れた頃に』の上演などシアターパークの活性化を目指した企画を行いました。
- (3) 続くコロナ禍中、感染者が出るなど止むを得ず中止となる演目もありましたが、松本の感染状況を鑑み、万全の感染症対策を行いながら、『信州まつもと大歌舞伎』『レ・ミゼラブル』などの大型公演を上演しました。また1年延期になった市民オペラも無事に念願のオリジナル作品の初演を果たすことができました。
- (4) フェスタ松本はコロナ禍における国の文化振興対策として出された助成金（文化庁・アートキャラバン）を活用し、敢えてコロナ禍に立ち上げました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 上記の大型公演を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策を徹底していることを来場者に積極的にPRをしたため、チケットの払い戻し希望は少ない状況でした。
特に、『レ・ミゼラブル』は、大阪、福岡公演の中止が発生するなかで、松本公演は追加公演まで実施できました。
- (2) 『バックステージツアー』は、昨年度3月にオンライン開催として公開した「楽屋編」、「舞台概要編」に加えて、4月には「舞台テクニカル編」を作成し、舞台の仕込み場면을配信しました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

施設		3年度	2年度	前年度対比		
				増減	増減率	
主ホール	利用日数	自主事業	70	37	33	89.2%
		貸館（市主催）	7	1	6	600.0%
		貸館（一般）	100	61	39	63.9%
	利用日数計（日）		177	99	78	78.8%
	利用可能日数（日）		264	234	30	12.8%
	利用率（%）		67.0%	42.3%	24.7ポイント	
小ホール	利用日数	自主事業	75	24	51	212.5%
		貸館（市主催）	7	4	3	75.0%
		貸館（一般）	118	88	30	34.1%
	利用日数計（日）		200	116	84	72.4%
	利用可能日数（日）		292	250	42	16.8%
	利用率（%）		68.5%	46.4%	22.1ポイント	
オープンスタジオ	利用日数	自主事業	195	149	46	30.9%
		貸館（市主催）	0	2	△ 2	-100.0%
		貸館（一般）	55	67	△ 12	-17.9%
	利用日数計（日）		250	218	32	14.7%
	利用可能日数（日）		308	291	17	5.8%
	利用率（%）		81.2%	74.9%	6.3ポイント	
スタジオ2	利用日数	自主事業	194	112	82	73.2%
		貸館（市主催）	1	0	1	皆増
		貸館（一般）	39	105	△ 66	-62.9%
	利用日数計（日）		234	217	17	7.8%
	利用可能日数（日）		321	297	24	8.1%
	利用率（%）		72.9%	73.1%	△ 0.2ポイント	
スタジオ3	利用日数	自主事業	90	79	11	13.9%
		貸館（市主催）	1	1	0	0.0%
		貸館（一般）	92	94	△ 2	-2.1%
	利用日数計（日）		183	174	9	5.2%
	利用可能日数（日）		294	296	△ 2	-0.7%
	利用率（%）		62.2%	58.8%	3.5ポイント	
スタジオ4	利用日数	自主事業	77	65	12	18.5%
		貸館（市主催）	0	0	0	皆増
		貸館（一般）	70	100	△ 30	-30.0%
	利用日数計（日）		147	165	△ 18	-10.9%
	利用可能日数（日）		298	297	1	0.3%
	利用率（%）		49.3%	55.6%	△ 6.2ポイント	
M2会議室	利用日数	自主事業	70	51	19	37.3%
		貸館（市主催）	2	1	1	100.0%
		貸館（一般）	70	42	28	66.7%
	利用日数計（日）		142	94	48	51.1%
	利用可能日数（日）		304	296	8	2.7%
	利用率（%）		46.7%	31.8%	15.0ポイント	

2 来館者数

			3年度		2年度		前年度対比		
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
主ホール	音楽系	クラシック	8	24,143	4	6,566	4	17,577	267.7%
		ポピュラー	25		10		15		
		邦楽	1		1		0		
		その他	0		0		0		
		オペラ	3		0		3		
	芸能系	ミュージカル	9	40,019	0	11,483	9	28,536	248.5%
		演劇	26		24		2		
		古典芸能	9		4		5		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	6	2,570	2	745	4	1,825	245.0%
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	41	19,725	19	5,945	22	13,780	231.8%
計		128	86,457	64	24,739	64	61,718	249.5%	
小ホール	音楽系	クラシック	15	3,274	13	1,084	2	2,190	202.0%
		ポピュラー	12		1		11		
		邦楽	2		0		2		
		その他	0		0		0		
	芸能系	演劇	19	2,509	5	572	14	1,937	338.6%
		古典芸能	3		1		2		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	5	572	2	259	3	313	120.8%
その他	大会・集会・収録・リハーサル	143	5,286	128	5,167	15	119	2.3%	
計		199	11,641	150	7,082	49	4,559	64.4%	
スタジオ・会議室			-	9,124	-	9,556	-	△ 432	-4.5%
見学他			-	55,371	-	30,342	-	25,029	82.5%
合計			327	162,593	214	71,719	113	90,874	126.7%

3 利用料金収入

目標	利用料金収入	23,000 千円
----	--------	-----------

	3年度	2年度	前年度対比	
			増減	増減率
利用料金	32,592,310	10,221,630	22,370,680	218.9%
合計	32,592,310	10,221,630	22,370,680	218.9%

5 松本市波田文化センター

活 動 の 概 要

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切に、鑑賞の場だけでなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和3年度の重点的な取組みの成果

(1) 自主事業

アクトホールの特性を生かし、地元乗鞍出身の高橋あず美のコンサートを行い県内外から多くのお客様にお越しいただきました。また、映画上映会に関してもシネマセレクトとの共催も含めバラエティに富んだ7作品を上映し、自主事業の大きな柱として展開しました。

(2) 地域や他団体との共同

コロナの感染状況を鑑み子ども向けの作品を中止したことから、小規模なアウトリーチを中間教室対象に行いました。普段は音楽に触れる機会が少ないとのこと喜んでいただきました。また、講師の方からも通常のコンサートとは違った良い体験になったとの感想をいただきました。

(3) 継続している事業

ピアノを一般の方に開放するイベントなどは、開催の方法などを検討し安全な中で参加者にもご理解とご協力をいただきながら予定通り行うことが出来ました。

3 利用促進対策の成果

(1) 貸館

コロナの感染拡大予防を第一に、非接触型体温計の貸出、消毒液の設置、事前説明など丁寧に行いました。打ち合わせもすべて電話やメールで行い、その上で感染状況が原因の変更やキャンセルにも柔軟に対応しました。感染警戒レベルの変更に準じ、利用目的などに沿った臨機応変な対応に心がけ、感染下で安心して利用いただけるよう努めました。

(2) 利用者アンケート

コロナの感染拡大予防の観点から自主事業のアンケートは行いませんでした。貸館利用者には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に取り組みました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

施設		令和3年度	令和2年度	前年度対比	
				増減	増減率
アクトホール	利用日数（日）	52	57	△ 5	-8.8%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	18.3%	21.7%	△ 3.4ポイント	
練習室	利用日数（日）	137	97	40	41.2%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	48.2%	36.9%	11.4ポイント	
第1会議室	利用日数（日）	25	23	2	8.7%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	8.8%	8.7%	0.1ポイント	
第2会議室	利用日数（日）	32	33	△ 1	-3.0%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	11.3%	12.5%	△ 1.3ポイント	
第3会議室	利用日数（日）	142	126	16	12.7%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	50.0%	47.9%	2.1ポイント	
ハイビジョンシアター	利用日数（日）	7	1	6	600.0%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	2.5%	0.4%	2.1ポイント	
展望室	利用日数（日）	3	0	3	
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	1.1%	0.0%	1.1ポイント	
ギャラリー	利用日数（日）	0	31	△ 31	-100.0%
	利用可能日数（日）	284	263	21	8.0%
	利用率（%）	0.0%	11.8%	△ 11.8ポイント	

2 来館者数

	令和3年度		令和2年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
アクトホール	57	3,413	57	3,817	0	△ 404	-10.6%
練習室	164	911	112	605	52	306	50.6%
第1会議室	25	220	24	203	1	17	8.4%
第2会議室	32	184	34	168	△ 2	16	9.5%
第3会議室	143	1,226	127	1,077	16	149	14%
ハイビジョンシアター	6	102	1	10	5	92	920.0%
展望室	3	11	0	0	3	11	
ギャラリー	0	0	1	103	△ 1	△ 103	-100.0%
合計	430	6,067	356	5,983	74	84	1.4%

3 利用料金収入

目標	利用料金収入	5,780 千円
----	--------	----------

	令和3年度	令和2年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設利用料	603,879	185,171	418,708	226.1%
設備利用料	1,070,010	1,075,900	△ 5,890	-0.5%
合計	1,673,889	1,261,071	412,818	32.7%